

薬局における在宅業務

静岡県薬剤師会

1

薬剤師が在宅を行う効果

**在宅患者訪問薬剤管理指導
又は居宅療養管理指導の開始時に
発見された薬剤管理上の問題点**

(N=812)

問題点	割合
薬剤の保管状況	57.3%
薬剤の重複	9.1%
併用禁忌の薬剤	1.7%
薬剤の飲み忘れ	35.7%
薬剤が飲みにくい ため残されていた	7.9%
薬剤の飲みすぎ	10.5%
処方内容と食習慣が 合っていないかった	5.7%
副作用の発症	23.3%
服用薬剤の理解不足	46.4%
その他	13.2%

**在宅患者訪問薬剤管理指導
又は居宅療養管理指導の取り組みの効果**

問題点	改善	不変	悪化	無回答
薬剤の保管状況	73.5%			(N=465)
薬剤の重複	60.8%			(N=74)
併用禁忌の薬剤	35.7%			(N=14)
薬剤の飲み忘れ	66.2%			(N=290)
薬剤が飲みにくい ため残されていた	65.6%			(N=64)
薬剤の飲みすぎ	55.3%			(N=85)
処方内容と食習慣が 合っていないかった	76.1%			(N=46)
副作用の発症	66.1%			(N=189)
服用薬剤の理解不足	76.2%			(N=377)

□改善 □不変 ■悪化 □無回答

薬剤師が関与することにより、

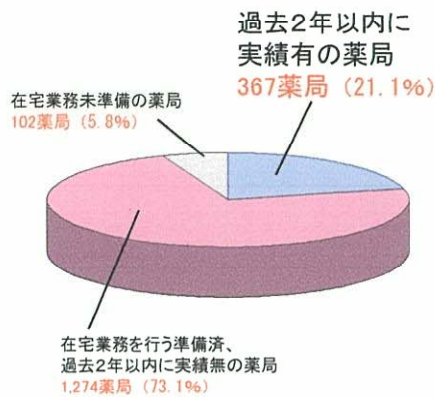
- 生活実態に即した薬の保管状況の改善
- 服薬アドヒアランスの向上、副作用への対応が推進
- 在宅における多職種負担軽減

2

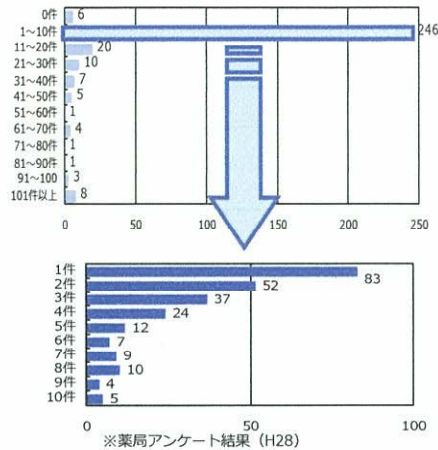
静岡県の薬局による在宅の現状

○在宅業務を行う準備がある薬局
1,641薬局（保険薬局の94%）

○在宅業務を実施している薬局のうち、
実施中の在宅業務数は
45%の薬局で2件以下



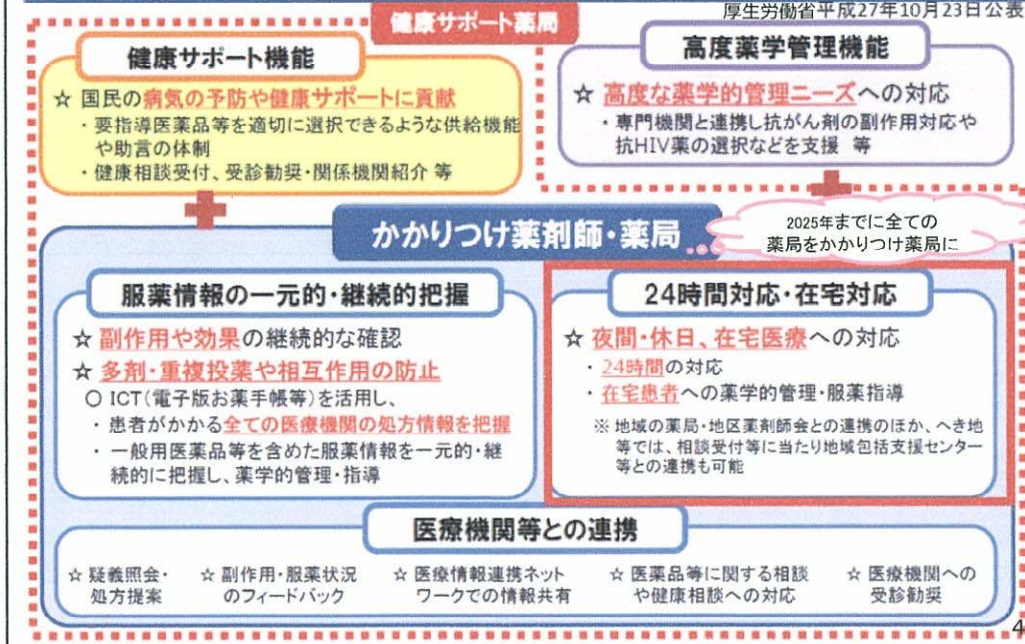
総数）厚生局届出薬局1,743薬局



3

「患者のための薬局ビジョン」～「門前」から「かかりつけ」、そして「地域」へ～

厚生労働省平成27年10月23日公表



4